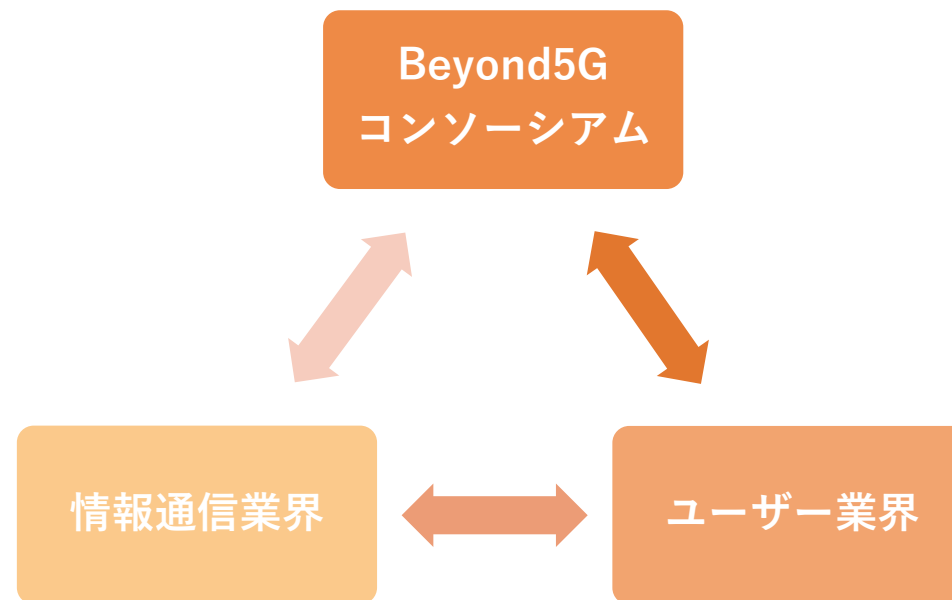


# 「WAKU WAKU 2030」

2022年2月28日  
ON BOARD  
Hirota Design Studio

# 「WAKU WAKU 2030(仮称)」

- 目的：新しい価値の創出につなげるためにユーザー側企業を巻き込む
  - ・ 「パイを広げる」
  - ・ ステークホルダーが「win-win」となるエコシステムを構築する
  - ・ ブランディング手法を用いて、意識共有を図りながら士気を高めて進める



# 検討会の実施

➤ 2021年12月~2022年3月まで、合計4回実施

12月

- キックオフの開催

1月

- 第一回検討会(リアル開催)  
2030年までに豊かな暮らしや産業を創出するに、B5G推進コンソーシアムはどのようなワーキンググループを設定し、これらを有機的、創造的に運営しながら活動の輪を広げていくべきか？

2月

- 第二回検討会(オンライン)  
「WAKU WAKU 2030(仮称)」を想定し、どのような個別プロジェクト(キャッチコピー)があればよいか？

3月

- 第三回検討会(オンライン)  
個別プロジェクトにどんな人や企業が集まると、WAKU WAKUする未来を創造できそうか?来年度の展開を考える

# 検討会メンバー

- 情報通信企業の「5G×協創」に関わるメンバーを中心に参加を依頼
- 業種や年代などの多様性を確保. 総務省施策「5G・IoTデザインガール」も参画

# 検討会意見

- 欧州は、Beyond5G、6Gを**SDGsのプラットフォーム**という言い方をして、**SDGsをメインにすることで企業が参画しやすくなる**。本コンソーシアムも「**SDGs推進フォーラム~Beyond5G~**」としてもよいかもしれない。
- 5GやBeyond5Gをツールとして捉えているため、**5G/Beyond5Gそのものの議論に参加するモチベーションがない**というのが現状。興味がないユーザー企業に、**5G、Beyond5Gのインフラは必ず来ることを伝え理解**をしてもらう必要がある。
- **情報を発信していく場が必要**であり、**関西万博**などを活用するのはユーザー企業に伝わりやすい。
- 5Gという技術用語全面押ししていることがハードルを上げている。**技術用語が来ると、テクノロジー業界が専門家で、ユーザー側は専門家外のような形となり**パートナーシップ議論が成り立たない。
- ユーザー企業に声がけしてみると、5G、Beyond5Gというキーワードを出すと、「**まだうちの会社そこまでです**」とか、「**私、専門知識無いので**」といった形で参加を遠慮する方が多い。
- 5Gはインフラになるので、**もっと身近なユースケース**というものをどんどん見せて、当たり前に見えるということ、**敷居を下げ**ていくということも、ユーザー側企業の関心を集めるいい取組みだと思う。
- **場にはインセンティブが必要**ということだが、人が集まれば集まるほど、**何かここに集まれなければ乗り遅れてしまう**、こんな企業さんが参加しているならうちからも人を出さないという**場自体がインセンティブ**になると思う。

Beyond5G目線  
～出口をユーザー～



ユーザー目線  
～入り口をユーザー～

# 検討会から作成した理念(案)

「WAKU WAKU 2030」は未来の日本をみんなの手で作ってしまおうという結構思い切ったプロジェクトなんです。

そもそも未来がやってくるのを待つより、作った方がWAKU WAKUするよね。

どうせ作るなら、みんなで作った方が納得できるし、良い未来になりそう。

みんなのいろんな知識や経験、ネットワークが結集するのってWAKU WAKUする。

みんなは産・官・学の専門家だけでなく、暮らしの専門家、生活者でもあるよね。

そのためにはいろんな垣根を取り払わなきゃなんないけど、

**垣根が取り払われただけでも、向こう側に未来が見えそうじゃない？**

だから「WAKU WAKU 2030」には、垣根なんかはないんです。

**でも、大丈夫！ 垣根を取り払っても、**

**最先端の通信技術「Beyond 5G」が意思の疎通や創造性の向上を加速させ、**

きっと素晴らしい未来の実現をサポートしてくれますから。

# 主体性（例）

## WAKU WAKU 2030ついに始動

「WAKU WAKU 2030」は未来の日本をみんなの手で作ってしまおうという結構思い切ったプロジェクトなんです。そもそも未来がやってくるのを待つより、作った方がWAKU WAKUするよね。どうせ作るなら、みんなで作った方が納得できるし、良い未来になりそう。みんなのいろんな知識や経験、ネットワークが結集するのってWAKU WAKUする。みんなは産・官・学の専門家だけでなく、暮らしの専門家、生活者でもあるよね。そのためにはいろんな垣根を取り払わなきゃなんないけど、垣根が取り払われただけでも、向こう側に未来が見えそうじゃない？だから「WAKU WAKU 2030」には、垣根なんかないんです。でも、大丈夫！ 垣根を取り払っても、最先端の通信技術「Beyond 5G」が意思の疎通や創造性の向上を加速させ、きっと素晴らしい未来の実現をサポートしてくれますから。

全員参加！でつくる未来の日本プロジェクト

主催：B5Gコンソーシアム



※社会に向けて発信するすべてのドキュメントの右下にこのように小さく必ず入れる。

# 「WAKU WAKU 2030」の仕組み(案)

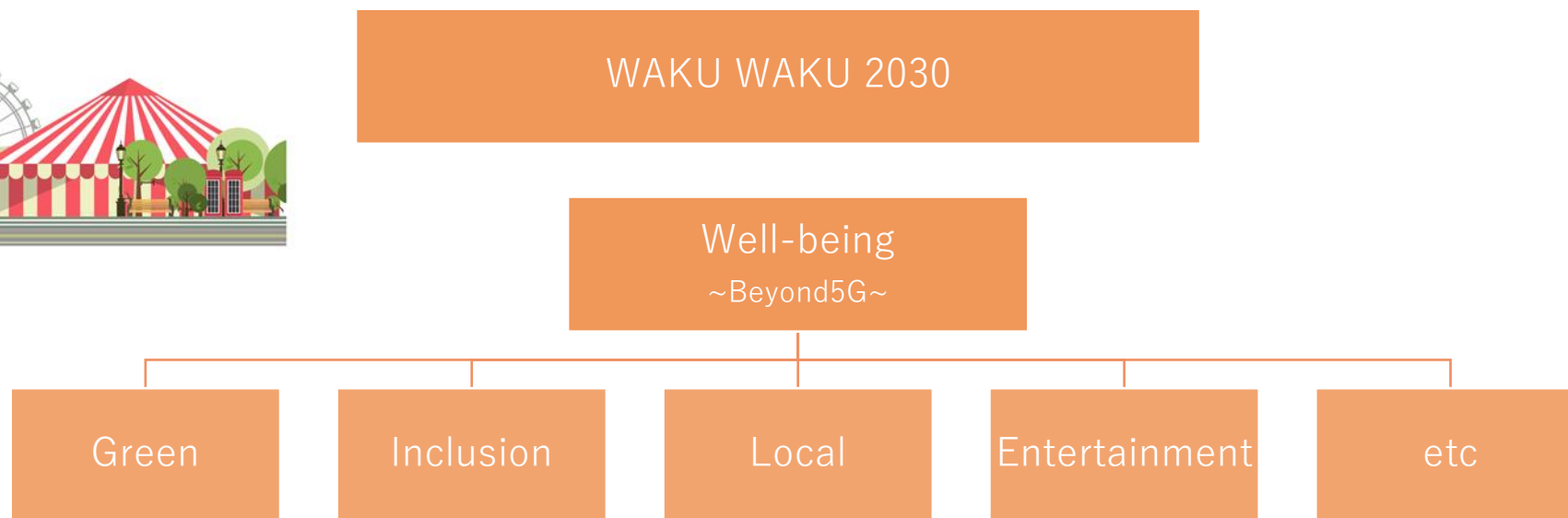
➤ テーマパークに例えると

個別プロジェクト = テーマパークパビリオン

**ゲスト = ユーザー側企業**

キャラクター、ナビゲーター = 専門家、情報通信企業

ホスト、キャスト = 総務省、情報通信企業





# 2021年度 実施施策内容(予定)

## ▶ インタビュー動画コンテンツ(YouTube予定)

ユーザー側目線のお題から、5G・Beyond5Gをわかりやすく伝える

【第一弾】 地域×5G : 東京大学大学院 森川先生×ユーザー側企業

【第二弾】 協創×5G : NTTドコモ 谷氏×ユーザー側企業

【第三弾】 白書 : 白書部会メンバー×ユーザー側企業

## ▶ オンラインセミナー「WAKU WAKU 2030」

ユーザー側企業に参加いただける新たな仕組み・場の重要性を伝える

2022年3月24日(木)10時~12時予定

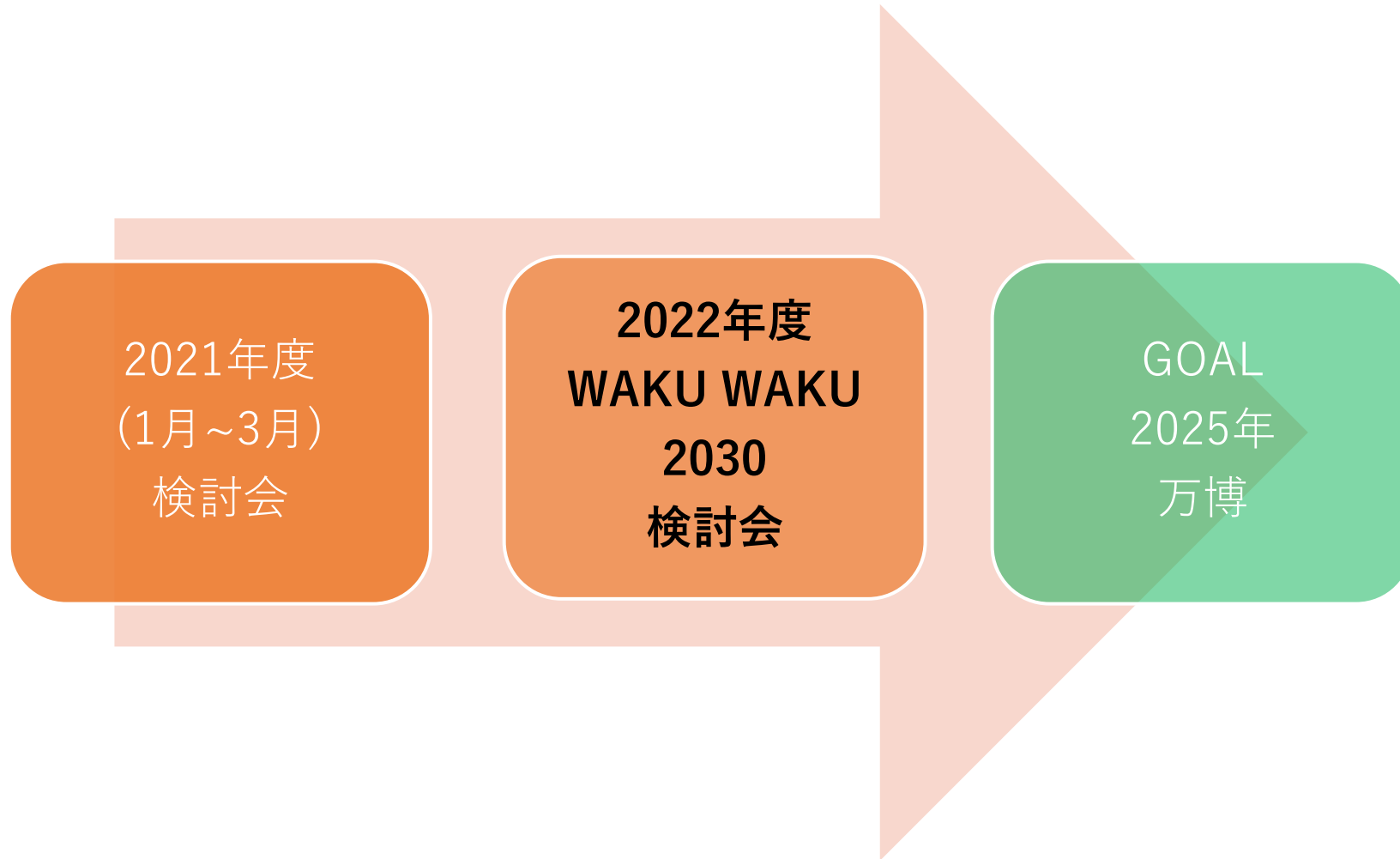
【話題提供】

東京大学大学院 森川先生/ソニーグループ 島田氏

【パネルディスカッション】

Beyond5G推進コンソーシアム検討会メンバー

# 2022年度 検討会議「WAKU WAKU 2030」発足(案)



# 2022年度 検討会議内容(案)

- ▶ ブランドの「基礎」をつくる  
「ビジョン」「ミッション」「バリュー」等の策定
- ▶ 「伝え方」をつくる  
ホームページ、YouTube(動画)、オンラインセミナー等
- ▶ 「活動」を考える  
ユーザー側企業の巻き込み方

## 検討会議メンバー案

**「2021年度検討会メンバー有志 + 会員企業の有志 + 各産業の有志」**

**※アジャイルに追加**